



写真が語るアイヌの近代
「見せる」「見られる」のはざま

大坂 拓 著

噴火湾沿岸に生きた人びとの、
「切り取られた」写真を歴史につなぎ直す
「日本人」であることを強制される一方、ときに「伝統的な
アイヌ」であることも求められ、差別のまなざしを向けられ
た人びとは、どのように生きたのか。明治時代以降、観光
みやげとして流通した「アイヌ風俗写真」に写されたもの、
写されなかったものの分析を通して実態を描き出す。

新泉社

「アイヌ風俗写真」を 歴史につなぎ直す

講師 大坂 拓

Taku Osaka
北海道博物館学芸主査

幕末・維新时期以来、アイヌの姿が数多くの写真家によって撮影され、
そこで生み出された写真はある時は人類学的な「標本」として、
またある時は北海道の「珍奇」な土産物として、
和人をはじめとする外部の人びとにより消費されてきました。
今回の講座では、そうした写真をまったく異なった角度から見直し、
近代を生きたアイヌのあゆみを描く試みについて、
『写真が語るアイヌの近代「見せる」「見られる」のはざま』(新泉社)
の著者にお話いただきます。



※駐車場はございませんので公共交通機関を
ご利用ください。

主 催 北海道大学アイヌ・先住民研究センター
お問合せ TEL / FAX 011-706-2859
E-mail ainu@let.hokudai.ac.jp/
Website <https://www.cais.hokudai.ac.jp/>

6.17 (火) 18:30 開場 18:00
20:00

会場 北海道大学
学术交流会館 1 階 小講堂

定員 北大会場 50名
オンライン 200名

受付方法 下記URL、または右下のQRコードへアクセスいただき、
必要事項をご記入の上お申込み下さい。
受付フォーム URL <https://x.gd/igyy2>

参加無料

北大会場
オンライン配信
(事前申込制)

お申込み期限
6月8日(日)
24:00 まで

※開催5日前、及び開催前日に登録メールアドレスへ参加情報が送付されます。
※定員に達し次第、受付終了となります。
※後日の配信(オンデマンド配信)は行っておりません。
※受付期間後の受付は出来かねますので、何卒ご了承下さい。

